

令和2年度ブロック化による学校支援事業(第1教育ブロック) 報告書
【学校単位の事業】(校園コード 641391)学校名 田川小学校

この事業の実施結果を、次のとおり報告します。

※この様式は第1教育ブロックグループあてSKIPメールにて提出してください。

※記入欄が不足する場合には、適宜、欄を増やしたり、広げたりしてください。

1 決算額 278,250 円

2 自校の「学力状況把握シート」の分析から見えてきた課題

※自校の児童生徒に育成すべきと考える能力等

学力経年調査の平均正答率は、国語、算数ともに、市の平均を下回った。国語の領域では「読むこと」と「書くこと」が大阪市の平均に近かった。基礎・基本である「言語事項」がかなり弱く、漢字の問題もまだ弱かった。

※自校の児童生徒に育成すべきと考える資質等

「国語の授業の内容がよくわかりますか」「算数の授業の内容がよくわかりますか」で、肯定的な回答が多かったが、それが結果に結びついていない。復習を含めた家庭での学習がまだ不足しており、漢字以外でも、繰り返しの学習を通して、家庭学習の定着を図りたい。

3 取組実績・決算内訳

※様式2の項目8で掲げた取組ごとに、何を、いつ、どれだけ実施したかを具体的に記入してください。

※委員会使用欄は記入しないでください。

※決算内訳は、費目、数量、単価、金額、執行月、使途がわかるように記入してください。

※本様式に加えて、@リサーチャーによる決算報告も提出していただきます。

取組実績①

委員会使用欄

漢字学習に取り組み、漢字検定の受験に向けての学習を通して、基礎学力の定着をめざす。

決算内訳①

11-4 漢字検定・受験料 1～4年生@2000×30人=60,000円
@1500×170人=255,000円 控除76,750円
計 238,250円

取組実績②

委員会使用欄

漢字の学習を通して、家庭学習の習慣を身につけ、自主的な学習態度を育成

決算内訳②

10-1 漢字ドリル @740×55=40700円 値引き 700円 計 40,000円

【裏面に続く⇒】

取組実績③	委員会使用欄
決算内訳③	

※学びサポーターの配置の場合には、こちらに記入してください。

取組実績【学びサポーターの配置】 配置の目的： 配置する教科・学年・週当たりの時間数(例 国語・3年・週2時間)： 週当たりの時間数合計：____時間／週 期間：令和____年____月～令和____年____月	委員会使用欄
--	--------

4 目標の達成状況

【成果指標①】 目標の達成状況(枠で囲んでください。): 目標を上回る 目標を○おり 目標を下回る 成果指標・検証結果(様式2の項目6で掲げた目標に対し、どのような状態になったかを記入してください。): 漢字検定の合格者を80%以上にすることを目標にしたが、85.5%となり、目標を達成できた。児童の学習意欲の向上と基礎学力の定着が見られた。
【成果指標②】 目標の達成状況(枠で囲んでください。): 目標を上回る 目標を○おり 目標を下回る 校内の児童アンケートで、「家に帰ってから宿題以外の勉強をしている」の項目で、肯定的回答をする児童の割合を昨年度の70%から75%以上にすることを目標に取り組み、結果は70.9%となり、少しだけ伸びた。
【成果指標③】

5 取組の成果と課題

※項目4で述べた以外の成果や、取組が順調に進まなかったり、期待した成果が出なかったりした原因、原因を踏まえた今後の改善策等を記入してください。

【取組実績①】 1、2、3、4年児童に対し、7～1月に朝の学習や家庭学習において、漢字の繰り返しの練習をすることにより、漢字の定着をめざす。
【取組実績②】 1月に漢字検定を全員が受験し、継続して学習をしていけば、成果として合格証をもらえることを実感したり、学習の成果を感じることで、次の学習への意欲につなぐ。
【取組実績③】